

令和元年度

ふじみ野市平和祈念フェスティバル

実施報告書

～知ることは大切な第一歩 世界にひろげる平和の輪～



主 催 ふじみ野市／ふじみ野市教育委員会
企画運営協力 ふじみ野市平和推進事業実行委員会

はじめに

ふじみ野市は、平成22年10月1日に「ふじみ野市平和都市宣言」を制定しました。これは、ふじみ野市から平和の大切さを発信するため、宣言したものです。

恒久平和を願う心は、常に誰もが持つものであり、この願いがある限り戦争のない平和な世界が訪れることができると信じるものです。

本市における平和事業は、平成17年10月1日にふじみ野市が誕生した以後、継続して事業に取り組んできました。

そして、平成25年度からはふじみ野市〈協働推進課〉とふじみ野市教育委員会〈社会教育課〉との共催事業として取り扱うとともに、市民により構成される「ふじみ野市平和推進事業実行委員会」を組織し、企業の企画・運営に協力をいただき、事業を実施しています。

本年度においても市民一人ひとりが持つ市民力を生かした事業実施に意を尽くすとともに、多くの市民の参加をいただけるよう創意工夫をしてきました。

お陰様をもちまして、平和事業は、盛況にて終了しました。今後においては、この実績・経験を踏まえ、さらに本事業の充実を図っていきます。

市民の皆様におかれましては、「平和」であることの尊さを再認識していただきたいと存じます。市民一人ひとりの力はたとえ小さなものであっても、地域として、市としてのまとまりができれば、それは決して小さな力ではなく、とても大きな力となって世界に発信することができるはずです。

まず、一人でできる小さなことから始めてみてください。争いのない未来がそこにあるはずです。

令和元年11月

ふ　　じ　　み　　野　　市
ふ　じ　み　野　市　教　育　委　員　会
ふ　じ　み　野　市　平　和　推　進　事　業　実　行　委　員　会

目 次

- 1 実施報告書・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 3 p
- 2 フェスティバル写真・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 6 p
- 3 入場者アンケート調査結果・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 11 p

資料編

- 1 プログラム・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 17 p
- 2 フェスティバル開催までの経緯・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 21 p
- 3 ふじみ野市平和推進事業実行委員会設置要綱・・・・・・・・・・・・ 22 p
- 4 ふじみ野市平和推進事業実行委員会委員名簿・・・・・・・・・・・・ 23 p

1 実施報告書

令和元年度 ふじみ野市平和推進事業実施報告書

1 目的

この事業は、平和に関する語りや音楽コンサート等を開催するとともに、平和に関するパネル等を展示し、平和の大切さを後世に伝えるとともに、市民の平和意識を高めるために実施しました。

2 テーマ

「知ることは大切な第一歩 世界にひろげる平和の輪」

3 事業名

ふじみ野市平和推進事業「令和元年度平和祈念フェスティバル」

4 実施内容

(1) 音楽コンサート

ふじみ野市の未来を担う中学生に部活動で練習してきた成果の発表の場として、本事業で演奏していただき、音楽を通じて平和への思いを市民に伝えていき、平和活動のすそ野の広がりの推進を図ることを目的として開催しました。

【出演者】

ふじみ野市立葦原中学校吹奏楽部（リコーダー）

【演目】

- ①星に願いを
- ②ネコバス
- ③宇宙戦艦ヤマト
- ④パッヘルベルのカノン
- ⑤人生のメリーゴーランド
- ⑥ラデツキー行進曲

【所要時間】

20分

(2) 平和トークライブ

恒久平和を祈念した平和トークライブを開催し、平和への思いを市民とともに共有し、平和活動のすそ野の広がり推進を図ることを目的として開催しました。

【出演者】

オオカミ少年（吉本興業タレント）×富田 信男 氏・箕輪 政夫 氏
（市内在住の戦争体験者）

【内容】

戦争の体験や、平和や命の尊さについてのお話を大人から子どもまで分かりやすくトークライブ形式で行いました。

【所要時間】

30分

(3) 被爆体験伝承講話

子ども達は「戦争」というと戦場や戦闘場面を想起するかもしれませんが、戦争体験を聴くことを通して戦争の本質的な姿を学ぶことができます。過去の事実を知識としての伝達ではなく、人間としての感性や将来を生きる考えにも働きかける講話として開催しました。

【伝承者】

濱田 千恵 氏

【講話内容】

国立広島原爆死没者追悼平和祈念館から派遣された被爆体験伝承者に、伝承者が受け継いだ被爆者の体験と平和への思い、被爆の実相（戦時下の人々の暮らし、原爆被害の概要、原爆の人体への影響など）、伝承者としての平和への思いなどをお話いただきました。

【所要時間】

60分

(4) 平和パネル展示

広島平和記念資料館より借用した「熱線」「爆風」「放射線」をキーワードにした写真や絵のパネルをふじみ野市役所及び大井総合支所の各ギャラリーで巡回展示し、平和の尊さ、戦争の恐ろしさの理解を深め、平和活動の推進を図ることを目的として開催しました。

【パネルテーマ】

「ヒロシマを知ろう!! 8月6日、きのこ雲の下で」

【展示数】

パネル絵画 17 点

5 開催日時・場所

(1)～(3)までの事業

日時 令和元年9月28日(土) 午後1時～午後3時30分

場所 ふじみ野市立市民交流プラザ 多目的ホール

参加者数 99人

(4)の事業

平和祈念フェスティバル

日時 令和元年9月28日(土)

場所 市民交流プラザ ホワイエ

ふじみ野市役所本庁舎ギャラリー

日時 令和元年9月30日(月)～令和元年10月4日(金)

来場者数 41名

ふじみ野市大井総合支所展示スペース

日時 令和元年10月7日(月)～令和元年10月11日(金)

来場者数 12名

2 フェスティバル写真

開 会 式



司会・進行担当
山畑委員



平和都市宣言紹介
長谷川委員



主催者あいさつ
高畑市長



実行委員会会長あいさつ
中野会長

音楽コンサート



ふじみ野市立葦原中学校 吹奏楽部（リコーダー）

平和トークライブ



富田 信男 氏・箕輪 政夫 氏



オオカミ少年（吉本興業タレント）

パネル展示



3 入場者アンケート調査結果

調査日：令和元年 9 月 28 日(土)

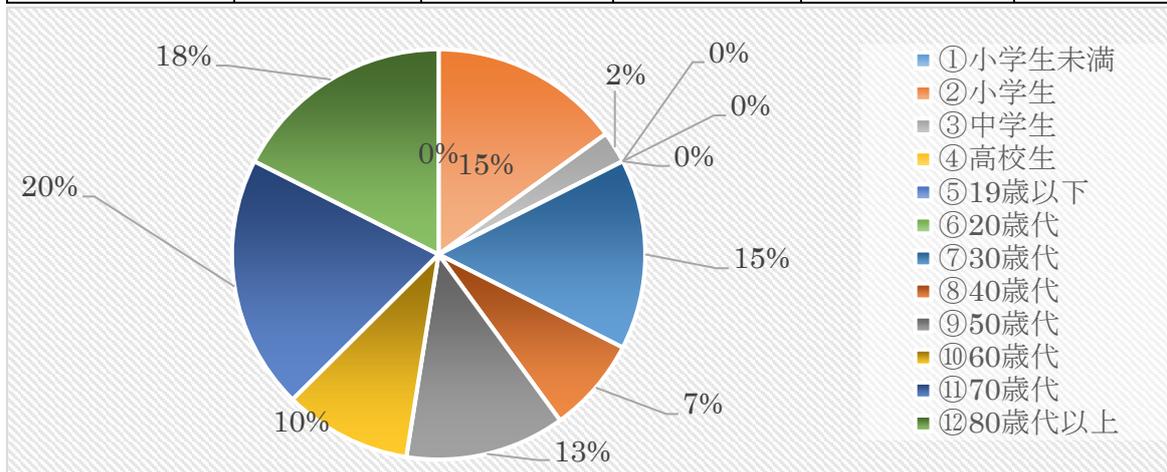
調査場所：ふじみ野市立市民交流プラザ 多目的ホール

調査対象者：市民

調査結果：回答者総数 40 人

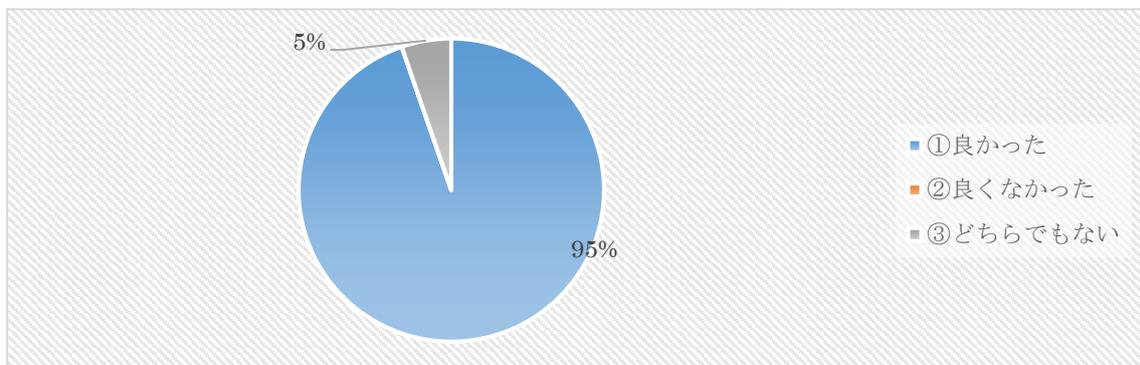
はじめに、あなた自身のことについておたずねします。

①小学生未満	②小学生	③中学生	④高校生	⑤19歳以下	⑥20歳代
0	6	1	0	0	0
⑦30歳代	⑧40歳代	⑨50歳代	⑩60歳代	⑪70歳代	⑫80歳代以上
6	3	5	4	8	7



問1 本日の事業について、ご意見をお聞かせ下さい。

①良かった	②良くなかった	③どちらでもない
36	0	2

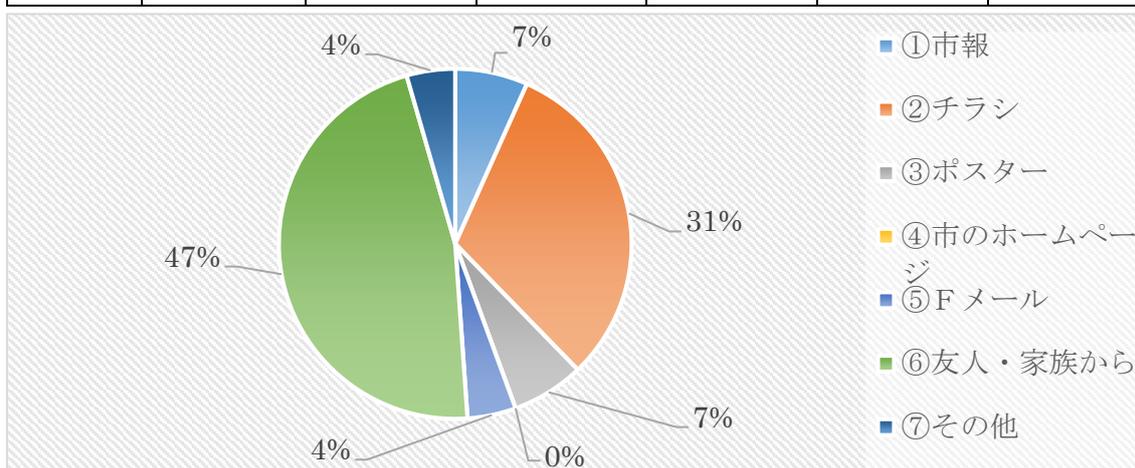


●感想

- ・ 吹奏楽部の「パッヘルベルのカノン」が印象に残りました。理由は、冬のピアノの発表で弾く曲だったからです。とても参考になりました。
- ・ プログラム6の説明や話が少し難しかった。
- ・ プログラム6がずっと説明だったので、映像も見たかったです。
- ・ 戦時中は食べているものが思ったよりも少なかったのですごく驚きました。
- ・ 大人にはとても興味深かったです。市内在住に富田さん、箕輪さんのお話は貴重でした。ただ、子どもには少しわかりにくかったようです。パネルは子どもが見ても分かりやすい内容でした。
- ・ 開会から参加したかったのですが、途中となりましたが、トークライブなどを聞かせていただき良かった。体験を生で聞くことはテレビと違うと感じました。
- ・ 地域の歴史を知る機会となった。
- ・ 濱田さんの講話が良かったです。今後も多くのところで講話お願いいたします。
- ・ 被爆体験伝承者のお話が聞きたくて来場しました。良かったです。
- ・ 「知ることは大切な第一歩」という統一テーマのもとに企画された今日のプログラム、経験者が少なくなる中でよいフェスティバルになったと思います。スタッフの皆さん、ありがとうございました。
- ・ 中学生の演奏、火工廠のこと、被爆の体験と内容的に豊かだと思いました。
- ・ 福岡周辺の昔の様子が解って良かった。
- ・ 平和である事のありがたみを感じた。広島での被爆体験の話ありがとうございました。
- ・ お話聞いてとても良かったです。
- ・ 体験談の話を聞いて戦争をやってはいけないと思いました。
- ・ 若い人達に聞かせたい。
- ・ 出席者が少ないのが残念。動員策を今後入念にやってください。
- ・ 昔の生活のことを思いだし先生方の良い話を聞くことができありがとうございました。

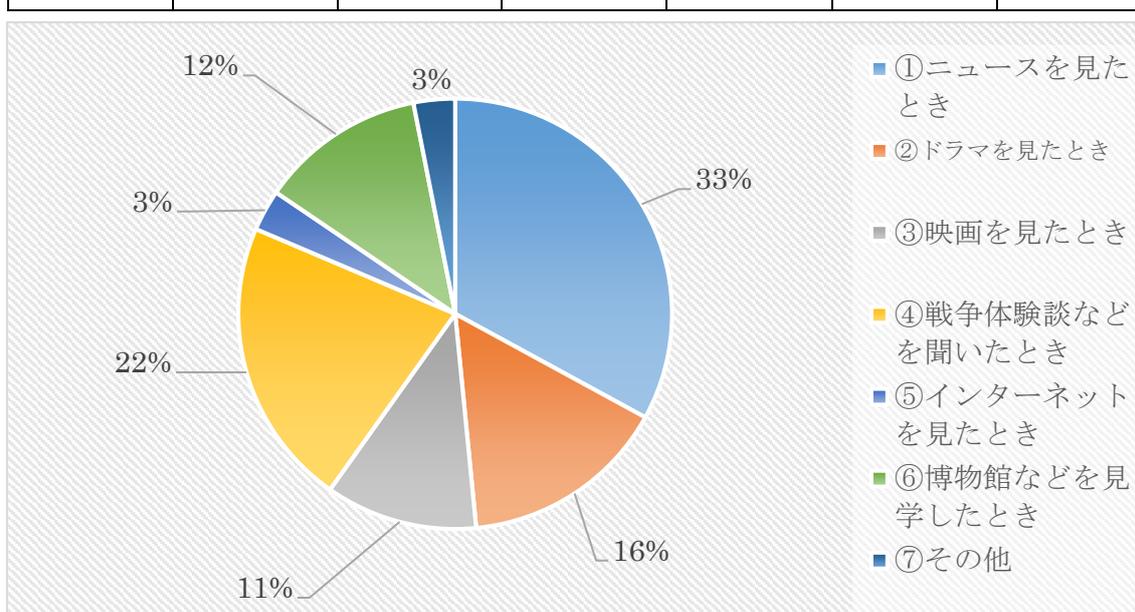
問2 令和元年度平和祈念フェスティバルを何によってしりましたか。

①市報	②チラシ	③ポスター	④市のホームページ	⑤市からのお知らせメール	⑥友人・家族から	⑦その他
3	14	3	0	2	21	2



問3 市民の皆さんが「平和」について意識したり、考えたりするときはどういった状況ですか。

①ニュースを見たとき	②ドラマを見たとき	③映画を見たとき	④戦争体験談などを聞いたとき	⑤インターネットを見たとき	⑥博物館などを見学したとき	⑦その他
32	15	11	21	3	12	3



問4 今年度の平和事業では、コンサート、平和トークライブ、被爆体験伝承講話、平和パネル展示を行いました。今後の平和事業において行って欲しい内容があればご記入ください。

- ・ 貼ってあったパネルには髪の毛が抜けて歯ぐきから血が出ていてとか書いてあったので、原爆にあった人はかわいそうだなと思いました。
- ・ 葦原中学校のみなさん、素敵でした。
- ・ 子ども連れの方はコンサートで帰ってしまう人もいて少し残念。コンサートなど間に挟んで行ってもよいかと感じた。準備は大変ですが、この目的の大切な話を聞いてもらいたいと感じた。
- ・ この平和事業は単独で行っても人員的に集客を見込むことはむずかしいので、他のものと一緒にし、多くの方に平和についてふれるようにした方が効果的ではないか？経費の無駄になる。
- ・ 地域の方のお話が聴けるという体験は続けてほしいと思います。
- ・ 今日みたいなことをまたお願い致します。事実を知らせるのが大切です。
- ・ 被爆体験伝承講話は是非続けてほしいです。できるだけ多くの若い世代の人達に聞いてもらいたいです。
- ・ この町の戦争、原爆のこと、くりかえし伝えていってほしいと思います。500人以上亡くなったという話はショックでしたので、まだまだ知らないことが多い、伝えなければならないことは多い。
- ・ 戦争体験している人が少なくなってゆくの、少しでも多くの体験者の話しを聞く事が出来ればと思います。
- ・ 平和トークライブの映像にはもう少し正しい解説が欲しかった。講話は、小学校高学年・中学生・高校生にぜひ聞かせたかった。
- ・ 悲しい、むごい、どうしたらいいの。
- ・ 平和になるには、まず政府が外国との対話を進めることです。
- ・ この事業を広く宣伝してください。
- ・ 良かったと思う。
- ・ 講話はわかりやすくて良いが広島全体の話しがほしかった。長すぎて老人には座り通しはきつい。

問5 今後の市の平和事業についてご意見・ご要望がありましたらご記入ください。

- ・ 小学4年の私には難しい話でした。
- ・ 子どもももう少し興味が持てるイベントがあるといいと思いました。
- ・ 戦争の悲しみを知らなければならないのは戦争を知らない私たち世代だと思うのですが、年配の方ばかり来ていますね。本当に語り継ぐのであ

れば若い人ほど来てもらえるようにすべきではないでしょうか？七夕まつりなど人がたくさん来るときに駅前で行うなど考えてみたらいかがでしょうか？

- ・ 大人から子どもまでが参加し勉強になる内容を継続してほしい。まずは参加できるようコンサートOK、短い映画の上映（戦争）などもよいかと。市から記念品を出すなど、平和祈念に参加してもらうようにしては？まずは参加が第一歩である。体験伝承講話を子どもたちにも聞いてもらいたく強く感じた。
- ・ こんなに少ない人だけでやることに、やる意味があるのか？形だけになっているように思える。子供たちにこのようなお話をどんどん伝えてほしい。もったいないです。
- ・ 細く長く続けてください。実行委員の方、お疲れさまでした。
- ・ より平和活動をして下さい。
- ・ このフェスティバルの事前の認知が不十分に思います。中学生のリコーダー演奏だけでも素晴らしかったですよ。
- ・ 平和トークライブと被爆者体験をのこして中学生や主催者の方が退席されましたが、ぜひ聞いていただけるようにして下さい。参加者が少ないのが残念ですが、今後も続けて参加者を増やせるよう頑張ってくださいと思います。協力もできるかぎりやってゆきたいです。
- ・ フェスティバルの会場について、昨年は大井支所の2Fゆめぼるとで、本年はフクトピアと、このように会場を移すことはよいことです。参加者を集めるための工夫はないものか？年に1度だけでも「平和」について考える時間を持ちたい！！
- ・ 演奏してくれた中学生もお話を聞いた方が良いのではないのですか。冷房が効きすぎて、首すじから背中が寒かった。
- ・ 立派な内容でも集まる人が少なければ何の意味もない。年配の人ばかり集まってもしょうがない。
- ・ 演奏は素晴らしかったのですが、時間は少々長すぎる。中学生は平和トークライブ等にどうして参加しなかったのか？良い機会だったのにもったいない。冷房が効きすぎ。参加人数が少ない、もう少し市民に知らせるべき。歌謡ショーと重なりよくなかったのでは。

資 料 編

- 1 プログラム
- 2 フェスティバル開催までの経緯
- 3 ふじみ野市平和推進事業実行委員会設置要綱
- 4 ふじみ野市平和推進事業実行委員会委員名簿

ふじみ野市平和推進事業

プログラム



日時 令和元年 9月28日(土) 午後1時～午後3時30分

会場/フクトピア (市民交流プラザ) 2階多目的ホール

主 催/ふじみ野市・ふじみ野市教育委員会

企画・運営協力/ふじみ野市平和推進事業実行委員会

平和祈念フェスティバル 次第

オープニング演奏（ふじみ野市立葦原中学校吹奏楽部）（リコーダー）

曲名 「ハイ・ホー」

1 開会

2 平和都市宣言

3 主催者あいさつ

ふじみ野市長 高畑 博

4 平和推進事業実行委員会会長あいさつ

5 音楽コンサート

出演者 ふじみ野市立葦原中学校吹奏楽部（リコーダー）

曲名 ①星に願いを

②ネコバス

③宇宙戦艦ヤマト

④パッヘルベルのカノン

⑤人生のメリーゴーランド

⑥ラデツキー行進曲

6 平和トークライブ

オオカミ少年（吉本興業タレント）×富田 信男 氏・箕輪 政夫 氏（市内在住の戦争体験者）

7 被爆体験伝承講話

濱田 千恵 氏（被爆体験伝承者）

8 閉会

ふじみ野市平和都市宣言

世界の恒久平和は、人類共通の願いです。

この願いを実現するために、私たちは唯一の被爆国として、広島・長崎の惨禍を忘れることなく、核兵器の廃絶を世界に訴え続けています。

しかし、今なお世界の各地では武力抗争が絶えず、自然や文化が破壊され、多くの尊い命が失われています。

私たちは、家族を愛し、ふじみ野市を愛し、日本を愛し、美しい地球を愛します。

私たちは、誰もが安全で安心な生活を営むことができる平和な世界の実現に寄与することを誓います。

ここに、ふじみ野市から平和の大切さを発信するため、「平和都市」を宣言します。

平成22年10月1日

ふじみ野市

【プログラム内容】

《音楽コンサート》

葦原中学校吹奏楽部の皆さんによるリコーダー演奏です。
未来を担う中学生の皆さんが音楽を通じて平和への思いを表現します。

『葦原中学校吹奏楽部』より

「温かい演奏を皆さんにお届けするため、日々練習に励んでいます。宜しくお願いします。」



《近年の成績》

- TBS子ども音楽コンクール：優良賞
- 東京リコーダー教育研究会主催
第47回リコーダーコンテスト
合奏の部：銅賞
重奏の部：金賞1グループ、銀賞2グループ、銅賞1グループ
- 全日本リコーダー教育委員会主催
第40回全日本リコーダーコンテスト
(全国大会) 重奏の部：銀賞

《平和トークライブ》

オオカミ少年（吉本興業タレント）と富田信男氏、箕輪政夫氏（市内在住の戦争体験者）による平和トークライブです。

戦時の体験や、平和や命の尊さについて大人から子供までわかりやすくトークライブ形式でお話します。

『オオカミ少年』

2003年 結成
片岡 正徳 氏（左）、浜口 裕章 氏（右）の
吉本興業所属の二人組ユニット

【受賞歴】

オートバックスM-1 グランプリ
2003・4年 準決勝進出
テレ朝特番「One month show」優勝他



『富田 信男』氏・『箕輪 政夫』氏

ふじみ野市在住
学徒動員により、旧陸軍弾薬工場の造幣廠（通称：火工廠）で労働奉仕

《被爆体験伝承講話》

国立広島原爆死没者追悼平和祈念館から派遣された被爆体験伝承者の濱田千恵氏に、伝承者が受け継いだ被爆者の体験と平和への思い、被爆の実相（戦時下の人々の暮らし、原爆被害の概要、原爆の人体への影響など）、伝承者としての平和への思いなどをお話ししていただきます。

『濱田 千恵』氏

平成 25 年 4 月から広島市の被爆体験伝承者養成事業に参加
平成 28 年 4 月から（公材）広島平和文化センターの委嘱を受けた被爆体験伝承者として活動開始

『被爆体験伝承者等派遣事業』

被爆者の体験や平和への思いを次世代に語り継ぐため、被爆者から直接受け継いだ体験を語り継ぐ「被爆体験伝承者」を国立広島原爆死没者追悼平和祈念館から全国に派遣する事業です。

《平和パネル展示》

『ヒロシマを知ろう!!8月6日、きのこ雲の下で』

広島に投下された一発の原子爆弾がもたらした影響について、「熱線」、「爆風」、「放射線」をキーワードにした写真や絵を交えた作品です。

平和推進事業実行委員名簿（推薦団体名等）《敬称略》

会 長 中 野 則 之（ふじみ野市人権擁護委員）
副会長 長谷川 節 子（ふじみ野市公民館運営審議会）
委 員 射 田 昭 男（ふじみ野市教育委員会社会教育委員会議）
委 員 中 島 和 子（ふじみ野市PTA 連合会）
委 員 三 上 武 昭（ふじみ野市遺族会）
委 員 山 畑 博 子（特定非営利活動法人ふじみの国際交流センター）

フェスティバル開催までの経緯

回	年月日	会場	内容
1	令和元年6月20日	市役所 (A202 会議室)	<ul style="list-style-type: none"> ●委嘱式 ●第1回会議 <ul style="list-style-type: none"> ・会長及び副会長の選出について ・令和元年度平和推進事業について
2	令和元年8月6日	市役所 (A202 会議室)	<ul style="list-style-type: none"> ●第2回会議 <ul style="list-style-type: none"> ・ポスター・チラシのデザインについて ・ポスター・チラシの配布先等について
3	令和元年9月20日	市役所 (A202 会議室)	<ul style="list-style-type: none"> ●第3回会議 <ul style="list-style-type: none"> ・プログラム・アンケートについて ・当日タイムスケジュール及び役割分担、会場レイアウトについて
4	令和元年9月28日	市民交流プラザ (多目的ホール)	<ul style="list-style-type: none"> ●フェスティバル開催日

ふじみ野市平和推進事業実行委員会設置要綱

平成28年3月25日制定

平成29年3月31日改正

(名称)

第1条 この会は、ふじみ野市平和事業実行委員会（以下「実行委員会」という。）と称する。

(目的)

第2条 実行委員会は、ふじみ野市及びふじみ野市教育委員会が共催で開催する「平和推進事業」実施に当たり、その企画並びに運営等に参加・協力し、もって市民の平和に対する意識高揚を図り、恒久平和の実現に向けた市民活動の推進を図ること目的とする

(組織)

第3条 実行委員会は、前条の目的に賛同する団体及び個人をもって組織する。

(事務所)

第4条 実行委員会の事務所は、ふじみ野市協働推進課内に置く。

(役員)

第5条 実行委員会に次の役員を置き、会員の互選により選任する。

会 長 1人

副会長 若干人

2 会長は、この会を代表し、会務を総理する。

3 副会長は、会長を補佐し、会長に事故あるときは、その職務を代理する。

4 役員任期は、就任した日から当該年度の事業が完了した日までとする。

(会議)

第6条 実行委員会の会議は、必要の都度会長が招集し、会長が会議の議長となる。

2 会議は、その構成員の2分の1以上の出席がなければ会議を開くことができない。

3 会議の議事は、出席者の過半数でこれを決し、可否同数のときは、議長の決するところによる。

(その他)

第7条 この要綱に定めるもののほか、実行委員会の運営に必要な事項は、会長が実行委員会の諮り、決定する。

附 則

この規程は、平成28年3月25日から施行する。

附 則

この会則は、平成29年4月1日から施行する。

ふじみ野市平和推進事業実行委員会委員名簿

五十音順（委員）／敬称略

No.	役 職	氏 名	備 考
1	会 長	なかの のりゆき 中野 則之	ふじみ野市人権擁護委員
2	副会長	はせがわ せつこ 長谷川 節子	ふじみ野市公民館運営審議会
3	委 員	い だ あきお 射田 昭男	ふじみ野市教育委員会社会教育委員会議
4	委 員	なかじま かずこ 中島 和子	ふじみ野市 PTA 連合会
5	委 員	みかみ たけあき 三上 武昭	ふじみ野市遺族会
6	委 員	やまはた ひろこ 山畑 博子	特定非営利活動法人ふじみの 国際交流センター

[編集・発行]

〒356-8501

埼玉県ふじみ野市福岡一丁目1番1号

●ふじみ野市 市民活動推進部 協働推進課地域振興係

電話番号 049-262-9016 (直通) FAX番号 049-266-1227

Eメールアドレス chiikishinkou@city.fujimino.saitama.jp

●ふじみ野市 教育部 社会教育課社会教育係

電話番号 049-220-2087 (直通) FAX番号 049-261-5100

Eメールアドレス syakaikyoiku@city.fujimino.saitama.jp